



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月13日

上場会社名 三谷セキサン株式会社
 コード番号 5273 URL <http://www.m-sekisan.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三谷 進治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 阿部 亨

TEL 0776-20-3333

定時株主総会開催予定日 2019年6月13日 配当支払開始予定日

2019年6月14日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	71,056	5.5	8,122	16.2	8,457	18.9	5,510	16.6
2018年3月期	67,363	3.4	6,992	36.8	7,113	34.5	4,723	38.3

(注) 包括利益 2019年3月期 7,247百万円 (2.1%) 2018年3月期 7,099百万円 (60.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	276.19		10.2	10.1	11.4
2018年3月期	232.68		9.8	9.3	10.4

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	86,573	58,940	65.8	2,885.00
2018年3月期	80,595	53,288	63.8	2,554.18

(参考) 自己資本 2019年3月期 56,949百万円 2018年3月期 51,407百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	9,166	2,397	1,989	25,296
2018年3月期	6,553	4,087	1,003	20,476

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		8.50		15.00	23.50	474	10.1	0.9
2019年3月期		10.50		19.50	30.00	594	10.8	1.0
2020年3月期(予想)		12.50		12.50	25.00		12.3	

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	7.0	3,100	23.5	3,200	26.6	2,200	21.0	111.44
通期	64,000	9.9	5,800	28.6	6,000	29.1	4,000	27.4	202.63

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期	24,986,599 株	2018年3月期	24,986,599 株
2019年3月期	5,246,662 株	2018年3月期	4,859,669 株
2019年3月期	19,950,614 株	2018年3月期	20,301,967 株

期末自己株式数

期中平均株式数

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調となりました。一方で、原材料価格の高騰、人手不足による労務費の高騰、米国の保護主義的な貿易政策などの海外経済の不確実性等、不透明な状況が続いております。

当連結会計年度の経営成績につきましては、売上高は710億56百万円（前期比5.5%増）、営業利益は、採算管理の徹底・経費抑制等の収益改善に努めた結果、81億22百万円（同16.2%増）となりました。経常利益は84億57百万円（同18.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は55億10百万円（同16.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① コンクリート二次製品関連事業

コンクリート二次製品関連事業につきましては、販売強化に取り組み、採算管理の徹底・経費抑制等の収益改善に努めました。その結果、当部門の売上高は583億72百万円（前期比5.5%増）となり、営業利益は68億36百万円（同21.6%増）となりました。

② 情報関連事業

情報関連事業につきましては、売上高は71億71百万円（前期比7.4%増）となり、営業利益は5億15百万円（同12.4%減）となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、売上高は55億12百万円（前期比2.4%増）となり、営業利益は13億46百万円（同3.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、865億73百万円となり、前連結会計年度末と比べ59億77百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金等の流動資産の増加と、投資有価証券の時価評価等の固定資産の増加によるものであります。

負債合計は、276億33百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億26百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の時価評価増による繰延税金負債の増加等の固定負債の増加によるものであります。

純資産合計は、589億40百万円となり、前連結会計年度末と比べ56億51百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金とその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は252億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億19百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、91億66百万円（前期は65億53百万円）となり、前連結会計年度に比べ26億13百万円の増加となりました。これは、税金等調整前当期純利益の増加、売上債権の減少が主な内容であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△23億97百万円（前期は△40億87百万円）となりました。これは、工事用部材、工場用設備等の有形固定資産の取得による支出21億54百万円が主な内容であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△19億89百万円（前期は△10億3百万円）となりました。これは、自己株式の取得による支出、配当金の支払による支出が主な内容であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率 (%)	63.0	63.8	70.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	72.7	62.3	74.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	4.5	6.7	3.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,486.4	1,496.0	2,298.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・ガバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、競争激化や原材料価格の高騰、人手不足による労務費の高騰等が懸念されるなど、厳しい経営環境が予想されます。

このような状況下で、主力のパイル部門を中心に拡販を強力に推進すると共に、生産性の向上、全社的なコスト抑制、財務体質の強化等で収益の確保に努めてまいります。

次期（2020年3月期）の業績につきましては、売上高640億円（前期比9.9%減）、営業利益58億円（同28.6%減）、経常利益60億円（同29.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益40億円（同27.4%減）の見通しであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,240	26,545
受取手形及び売掛金	20,906	18,749
電子記録債権	1,761	2,188
商品及び製品	2,155	2,365
仕掛品	81	72
原材料及び貯蔵品	774	754
前払費用	37	39
短期貸付金	27	4
未収入金	96	54
その他	260	560
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	48,337	51,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,054	4,248
機械装置及び運搬具（純額）	2,970	2,827
工具、器具及び備品（純額）	973	800
土地	7,391	7,383
建設仮勘定	18	270
その他（純額）	405	286
有形固定資産合計	15,813	15,816
無形固定資産		
ソフトウェア	652	554
その他	78	119
無形固定資産合計	730	673
投資その他の資産		
投資有価証券	13,978	16,298
長期貸付金	19	18
差入保証金	281	288
固定化営業債権	—	0
長期前払費用	57	72
繰延税金資産	514	533
その他	874	1,550
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	15,714	18,750
固定資産合計	32,258	35,241
資産合計	80,595	86,573

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,201	8,583
電子記録債務	4,777	4,893
短期借入金	118	43
未払金	2,986	2,621
未払費用	1,290	1,333
未払消費税等	333	431
未払法人税等	1,438	1,528
工事損失引当金	23	—
保証工事引当金	34	34
その他	821	906
流動負債合計	21,024	20,374
固定負債		
長期借入金	322	278
長期預り保証金	240	240
リース債務	466	622
繰延税金負債	3,776	4,500
役員退職慰労引当金	475	509
退職給付に係る負債	872	926
保証工事引当金	57	92
その他	70	88
固定負債合計	6,282	7,259
負債合計	27,307	27,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,146	2,146
資本剰余金	1,847	1,847
利益剰余金	41,412	46,410
自己株式	△2,408	△3,479
株主資本合計	42,997	46,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,410	10,025
その他の包括利益累計額合計	8,410	10,025
非支配株主持分	1,881	1,990
純資産合計	53,288	58,940
負債純資産合計	80,595	86,573

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	67,363	71,056
売上原価	55,288	57,676
売上総利益	12,075	13,380
販売費及び一般管理費	5,083	5,257
営業利益	6,992	8,122
営業外収益		
受取利息及び配当金	156	201
為替差益	—	100
その他	146	143
営業外収益合計	303	446
営業外費用		
支払利息	4	3
為替差損	123	—
その他	53	107
営業外費用合計	181	111
経常利益	7,113	8,457
特別利益		
固定資産売却益	9	1
投資有価証券売却益	2	26
その他	3	—
特別利益合計	15	28
特別損失		
固定資産除売却損	23	71
災害による損失	—	130
その他	0	26
特別損失合計	23	228
税金等調整前当期純利益	7,105	8,258
法人税、住民税及び事業税	2,307	2,638
法人税等調整額	△46	△6
法人税等合計	2,260	2,631
当期純利益	4,844	5,626
非支配株主に帰属する当期純利益	121	116
親会社株主に帰属する当期純利益	4,723	5,510

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	4,844	5,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,254	1,621
その他の包括利益合計	2,254	1,621
包括利益	7,099	7,247
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,969	7,125
非支配株主に係る包括利益	130	122

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,146	1,847	37,034	△1,815	39,212
当期変動額					
剰余金の配当			△345		△345
親会社株主に帰属する当期純利益			4,723		4,723
自己株式の取得				△593	△593
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	4,377	△593	3,784
当期末残高	2,146	1,847	41,412	△2,408	42,997

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	6,164	6,164	1,766	47,143
当期変動額				
剰余金の配当				△345
親会社株主に帰属する当期純利益				4,723
自己株式の取得				△593
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,245	2,245	114	2,360
当期変動額合計	2,245	2,245	114	6,144
当期末残高	8,410	8,410	1,881	53,288

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,146	1,847	41,412	△2,408	42,997
当期変動額					
剰余金の配当			△511		△511
親会社株主に帰属する当期純利益			5,510		5,510
自己株式の取得				△1,071	△1,071
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	4,998	△1,071	3,927
当期末残高	2,146	1,847	46,410	△3,479	46,924

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	8,410	8,410	1,881	53,288
当期変動額				
剰余金の配当				△511
親会社株主に帰属する当期純利益				5,510
自己株式の取得				△1,071
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,614	1,614	109	1,724
当期変動額合計	1,614	1,614	109	5,651
当期末残高	10,025	10,025	1,990	58,940

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,105	8,258
減価償却費	2,172	2,223
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	34	33
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	44	54
受取利息及び受取配当金	△156	△201
支払利息	4	3
為替差損益 (△は益)	123	△100
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2	△20
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	0
固定資産除売却損益 (△は益)	19	85
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,833	1,728
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△206	△178
仕入債務の増減額 (△は減少)	572	△725
その他	253	363
小計	8,129	11,523
利息及び配当金の受取額	156	201
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△1,727	△2,554
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,553	9,166
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	44	△94
投資有価証券の取得による支出	△5	△7
投資有価証券の売却による収入	4	41
有形固定資産の取得による支出	△3,895	△2,154
有形固定資産の売却による収入	12	10
その他	△248	△193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,087	△2,397
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△31	△75
長期借入れによる収入	720	—
長期借入金の返済による支出	△487	△43
自己株式の取得による支出	△593	△1,071
配当金の支払額	△345	△511
その他	△265	△287
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,003	△1,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67	39
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,394	4,819
現金及び現金同等物の期首残高	19,082	20,476
現金及び現金同等物の期末残高	20,476	25,296

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業部門を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「コンクリート二次製品関連事業」及び「情報関連事業」の2つを報告セグメントとしております。「コンクリート二次製品関連事業」は、主な製品としまして、コンクリートパイル・ポール、環境製品、砂利製品等であります。「情報関連事業」は、主な製品としまして、コンピュータ周辺装置等の販売及びソフトウェアの受託製作であります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

当連結会計年度より、各セグメントの経営成績の実態をよりの確に把握する目的からセグメント区分を見直し、「その他」の部分に含まれていた資材調達事業については、「コンクリート二次製品関連」事業に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	コンクリート二次製品 関連	情報関連	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	55,304	6,674	61,979	5,384	67,363	—	67,363
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	17	—	17	252	269	△269	—
計	55,321	6,674	61,996	5,636	67,632	△269	67,363
セグメント利益	5,624	587	6,211	1,303	7,515	△523	6,992
セグメント資産	43,995	5,718	49,714	12,188	61,902	18,744	80,646
その他の項目							
減価償却費	1,383	251	1,635	498	2,134	38	2,172
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	1,429	197	1,626	2,480	4,107	29	4,137

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境衛生部門、ホテル部門、技術提供収入部門、不動産賃貸収入部門及び太陽光発電収入部門が含まれております。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△523百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額18,744百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、各報告セグメントに帰属しない設備等であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額29百万円は、各報告セグメントに帰属しない設備等の投資額であります。

3. セグメント利益及びセグメント資産の調整後の金額は、それぞれ連結財務諸表の営業利益及び資産合計と一致しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	コンクリート二次製品 関連	情報関連	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	58,372	7,171	65,543	5,512	71,056	—	71,056
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	20	—	20	252	272	△272	—
計	58,392	7,171	65,564	5,764	71,328	△272	71,056
セグメント利益	6,836	515	7,352	1,346	8,698	△575	8,122
セグメント資産	42,885	6,247	49,132	12,428	61,560	25,013	86,573
その他の項目							
減価償却費	1,436	256	1,692	497	2,190	33	2,223
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	1,485	359	1,844	377	2,222	12	2,234

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境衛生部門、ホテル部門、技術提供収入部門、不動産賃貸収入部門及び太陽光発電収入部門が含まれております。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△575百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額25,013百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、各報告セグメントに帰属しない設備等であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額12百万円は、各報告セグメントに帰属しない設備等の投資額であります。

3. セグメント利益及びセグメント資産の調整後の金額は、それぞれ連結財務諸表の営業利益及び資産合計と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	2,554円18銭	2,885円00銭
1株当たり当期純利益金額	232円68銭	276円19銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益 (百万円)	4,723	5,510
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (百万円)	4,723	5,510
普通株式の期中平均株式数 (株)	20,301,967	19,950,614

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	53,288	58,940
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	1,881	1,990
(うち非支配株主持分) (百万円)	(1,881)	(1,990)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	51,407	56,949
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (株)	20,126,930	19,739,937

(重要な後発事象)

該当事項はありません。